

## (2) 脱炭素社会の実現に向けたグリーントランスフォーメーション (GX) の推進

### (a) ZEH・ZEBの普及や木材活用、ストックの省エネ化など住宅・建築物の

#### 省エネ対策等の強化

[1,225億円(1.25)]

我が国のCO<sub>2</sub>排出量の約3割を占める民生部門における省エネ、再エネ利用等を促進するため、カーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築物の省エネ化や木材利用の促進を図る。

- ・ LCCM住宅、ZEH、ZEB、長期優良住宅等の整備の推進
- ・ 既存ストックの省エネ改修への支援等の強化
- ・ 優良な都市木造建築物等の整備や地域の気候風土に応じた建築技術・CLT等の新たな部材を活用した先導的な取組への支援
- ・ 地域の中小工務店等の連携体制による省エネ性能等に優れた木造住宅の整備等への支援
- ・ 省エネ住宅・建築物の普及の加速に向けた中小住宅生産者等による体制整備への支援
- ・ 大工技能者等の担い手確保・育成、都市木造建築物を担う設計者への支援

#### 住宅・建築物の省エネ対策等の推進

2050年カーボンニュートラル、2030年度温室効果ガス46%削減(2013年度比)の実現に向けて、我が国のエネルギー消費量の約3割を占める建築物分野における取組が急務となっています。また、温室効果ガスの吸収源対策の強化を図る上でも、我が国の木材需要の約4割を占める建築物分野における取組が求められているところです。

こうした中、令和4年6月に公布された改正建築物省エネ法等では、①住宅を含む全ての建築物への省エネ基準適合義務の対象拡大、②建築物における木材利用の促進に資する建築基準の合理化等の措置により、建築物分野における省エネ対策の強化や木材利用の拡大等を図ることとしています。これらの措置が円滑に施行されるよう、環境整備を進めていきます。

#### 法案の概要

##### 1. 省エネ対策の加速 【建築物省エネ法・建築基準法・住宅金融支援機構法】

###### ① 省エネ性能の底上げ・より高い省エネ性能への誘導

- ・ 全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合を義務付け (現行は中大規模の非住宅) ※十分な準備期間を確保
- ・ トップランナー制度(大手事業者による段階的な性能向上)の拡充、誘導基準の強化等を通じ、ZEH・ZEB水準へ誘導
- ・ 販売・賃貸時における省エネ性能表示の推進

###### ② ストックの省エネ改修や再エネ設備の導入促進

- ・ 省エネ改修に対する住宅金融支援機構による低利融資制度を創設
- ・ 市町村が定める再エネ利用促進区域内について、建築士から建築主へ再エネ導入効果の説明義務を導入
- ・ 省エネ改修や再エネ設備の導入に支障となる高さ制限等の合理化



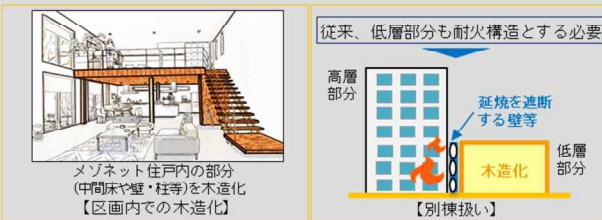
##### 2. 木材利用の促進 【建築基準法・建築士法】

###### ① 防火規制の合理化

- ・ 大規模建築物について、大断面材を活用した建物全体の木造化や、区画※を活用した部分的な木造化を可能とする ※ 高い耐火性能の壁・床での区画により延焼抑制
- ・ 防火規制上、別棟扱いを認め、低層部分の木造化を可能に

###### ② 構造規制の合理化

- ・ 二級建築士でも行える簡易な構造計算で建築可能な3階建て木造建築物の拡大 (高さ13m以下→16m以下) 等



###### <その他>

- ・ 省エネ基準等に係る適合性チェックの仕組みを整備 等

## (b) グリーンインフラ、まちづくり GX 等のインフラ・まちづくり分野における 脱炭素化の推進 [229 億円(1.43)]

自然の持つ多様な機能を活用するグリーンインフラ等のインフラの活用、都市における緑地の確保やエネルギー利用の再エネ化・効率化等を進めるまちづくり GX の推進を図るなど、インフラ・まちづくり分野における脱炭素化を推進する。

- ・ グリーンインフラ官民連携プラットフォームの活動拡大
- ・ 安全・安心、Well-being 向上、コミュニティやビジネス機会創出に向けたあらゆる分野・場面におけるグリーンインフラの社会実装の推進
- ・ エリア一体での脱炭素化、グリーンインフラの社会実装、都市の緑地に対する民間投資の促進、地方公共団体等による緑地の保全・整備の推進、環境への負荷を軽減する民間都市開発等の支援
- ・ 企業等による河川環境を向上させる取組の推進に向けた認証制度の創設
- ・ 生態系ネットワーク形成に寄与するグリーンインフラの推進
- ・ 渋滞対策などの道路交通の円滑化等による低炭素な道路交通の推進
- ・ 循環型社会・サーキュラーエコノミーに対応した建設資材の再資源化の推進
- ・ 上下水道一体での研究開発による資源循環の推進
- ・ 建設施工の脱炭素化の推進
- ・ 道路における再生可能エネルギーの活用や道路照明の省エネ化、高度化
- ・ インフラ等を活用した太陽光発電等の地域再エネの導入・利用の拡大
- ・ 下水道事業における革新的技術実証やバイオガス発電等による脱炭素化、下水汚泥資源の肥料利用の推進
- ・ ハイブリッドダムを取組による水力発電の導入・増強を通じた再生可能エネルギー供給の拡大
- ・ 既設砂防堰堤を利用した小水力発電による再生エネルギーポテンシャルの有効活用の推進
- ・ 河川舟運の活用や河川管理施設の無動力化による脱炭素化の推進

### まちづくり GX の推進

令和5年7月7日から9日にかけて開催されたG7香川・高松都市大臣会合でも取り上げられたように、気候変動への対応や生物多様性の確保など、都市を取り巻く課題は地球的・国家的規模になってきています。併せて、コロナ禍を契機とした人々のライフスタイルの変化を受けた Well-being 向上への要請に対応することが求められています。

このため、「まちづくり GX」として、①気候変動への対応（CO<sub>2</sub>の吸収、暑熱対策等）、②生物多様性の確保（生物の生息・生育環境の確保等）、③Well-being の向上（健康の増進、良好な子育て環境等）に大きな役割を有している都市の緑地の多様な機能の発揮、及び都市におけるエネルギーの面的利用の推進を図る取組等を進めていきます。



民間事業者による緑地の創出



都市に残る貴重な緑地の保全



エネルギー面的利用のイメージ

## (c) 自動車の電動化等の促進 [38 億円(1.21)]

自動車の電動化等の促進に向けた支援策を強化するとともに、自動車の電動化等に対応した道路インフラの社会実装に向けた検討を行う。

- ・ 地域公共交通の再構築やインバウンド推進等に資する先進車両の導入の支援
- ・ 次世代自動車に対応した道路における充電・充填インフラ設置への協力



## (d) カーボンニュートラルポートの形成等の港湾・海事分野における脱炭素化の推進 [111 億円(1.98)]

脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素等の受入環境の整備等を図る「カーボンニュートラルポート (CNP)」の形成を推進するとともに、炭素排出の少ない LNG 燃料船の普及促進、温室効果ガス (GHG) 排出ゼロの実現に向けた国際戦略の推進等による船舶の低・脱炭素化や洋上風力発電の導入等により、港湾・海事分野のカーボンニュートラルを推進する。

(港湾における脱炭素化の推進)

- ・ カーボンニュートラルポート形成の推進
- ・ ブルーカーボン生態系を活用した地球温暖化対策の推進
- ・ 港湾における水素等の取扱いに係る安全対策の推進

(海運におけるカーボンニュートラルの推進)

- ・ 炭素排出の少ない LNG 燃料船の燃料タンク等の国内生産の推進
- ・ GHG 削減に向けた国際戦略の推進
- ・ 内航海運におけるカーボンニュートラルに向けた環境整備
- ・ アンモニア等脱炭素燃料船のバンカリング (燃料供給) に関するガイドラインの整備

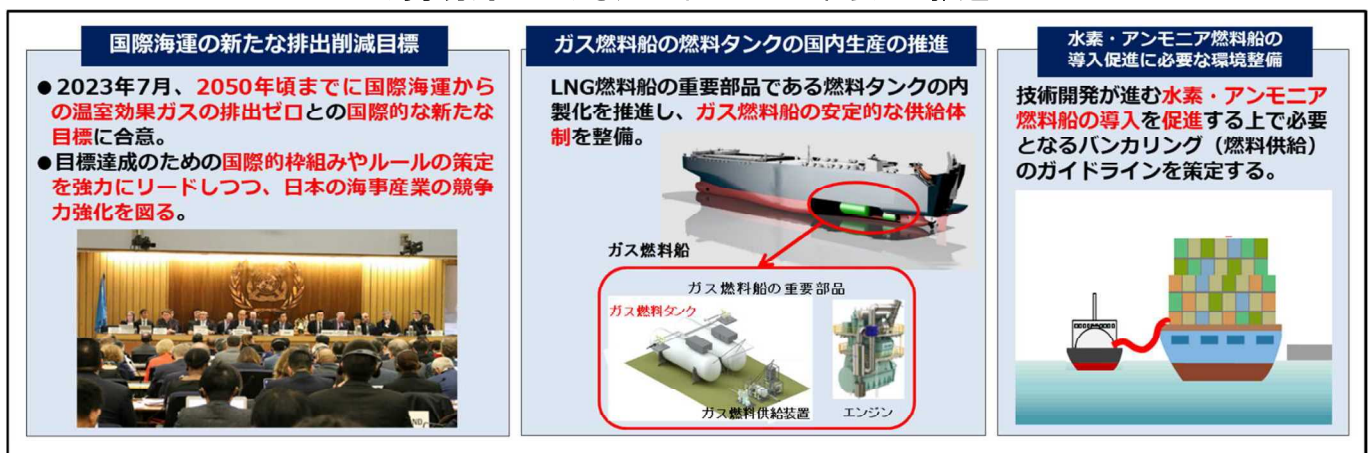
(洋上風力発電の導入の促進)

- ・ 洋上風力発電の導入を促す基地港湾の整備
- ・ 洋上風力発電の導入促進に向けた環境整備

〈カーボンニュートラルポートの形成に向けた具体的な取組の例〉



〈海事分野におけるカーボンニュートラルの推進〉



**(e) 持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進や空港の再エネ拠点化等の航空分野における脱炭素化の推進** [26 億円(1.28)]

航空分野における脱炭素化の実現に向けて、航空機の運航及び空港における脱炭素化の取組を推進する。

(航空機の運航における脱炭素化の推進)

- 持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた環境整備
- 航空機の運航の改善を通じた消費燃料の削減の推進
- 産学官の連携による航空機の脱炭素化に資する新技術の早期実用化に向けた取組の推進

(空港における脱炭素化の推進)

- 空港施設・空港車両・地上航空機からのCO<sub>2</sub>排出削減のための取組の推進
- 太陽光発電設備の導入等空港の再エネ拠点化の推進

**(f) 鉄道資産を活用した再エネ導入や沿線地域と連携したグリーン電力の地産地消等の鉄道分野における脱炭素化の推進** [6 億円(2.81)]

鉄道分野における脱炭素化の実現に向けて、鉄道資産を活用した再エネの導入や、沿線地域と連携したグリーン電力の地産地消、鉄道車両の脱炭素化等の取組を推進する。

- 鉄道分野・鉄道関連分野における脱炭素化に向けた取組の検討
- 鉄軌道事業者等による脱炭素化に資する取組の実装への支援